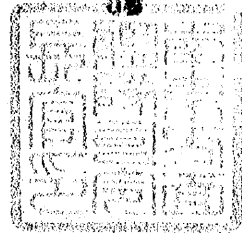


八三
日誌

新
海軍部
南東方面艦隊機密第三二〇號
自昭和十八年三月一日
至昭和十八年三月五日

南東方面艦隊戰時日誌

南東方面艦隊司令部



8989



(目次)

- 一、編制
- 二、人員ノ現状
- 三、令達報告等
- 四、麾下艦船部隊ノ行動
- 五、作戰經過概要

(目次終)

(4) 編制配備
艦隊編制

南 東 方 面				
第 十 一 航 空 艦 隊				
附	第 十 六 航 空 戰 隊	第 十 五 航 空 戰 隊	第 十 四 航 空 戰 隊	第 十 三 航 空 戰 隊
八〇二航空隊 秋津洲 りか丸、慶洋丸、天城山丸	第三十四驅逐隊 秋風、大刀風 五八二航空隊	八〇一航空隊 二五〇航空隊 七〇五航空隊 二〇四航空隊	二五一航空隊 七〇二航空隊 二〇一航空隊 五五二航空隊	七五五航空隊 二五二航空隊 七〇一航空隊 富士川丸 七〇三航空隊 七五二航空隊

三月一日現在

		艦	隊
第八艦隊	附屬	屬	
		第五日丸、鳴門丸、白春丸 名古屋丸、第十八真盛丸、五洲丸 那岐山丸、富士川丸、巴蘭丸、 第十、十二、十四、十六、十七、十八、十九、二十、 二十六、二十八設營隊、第八補欠班 第十三特設奧雷調整班 第三十六海軍軍用郵便所 佐鎮七特、一〇八空廠、第八氣象隊 南東方面艦隊軍法會議 第一、第三防疫班、十四、十六防疫隊	

南第		所屬	航空隊	艦載	陸偵	艦爆	陸攻	水戦	水偵	偵察	大艇	陸輸送機
2/5f												
二五二空	七五一空	二五三空		06/12	3/1							
45/15							06/12					
2	Δ2	2										

(二) 航空隊 編制

- (一) 三月一日附 一〇八空廠 南東方面艦隊附屬
 二三月十番附
- (二) 第十四真雷調整班 第十一航空艦隊附屬
- (三) 七〇一航空隊 七〇三航空隊 解隊
- (四) 七五二航空隊 七五五航空隊 各陸攻 06/12 = 增強
- (五) 第十一航空艦隊 輸送機隊 (陸九水二) 7 (陸三水二) = 變更

(記事)

2290

		東 方 艦 隊												
8F6		艦 隊 空 艦 一 十												
		26sf				25sf			24sf			22sf		
九	(輪)	八	七	五	二	八	七	二	七	七	五	二	七	七
八	機	〇	〇	八	〇	〇	〇	一	五	〇	五	〇	五	〇
空	隊	二	五	二	四	一	二	一	二	三	二	一	五	一
		空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空
				$\frac{27}{9}$	$\frac{45}{15}$			$\frac{45}{15}$				$\frac{45}{15}$		
					$\frac{6}{2}$			$\frac{6}{2}$						
				$\frac{27}{9}$							$\frac{12}{6}$			
			$\frac{36}{12}$				$\frac{36}{12}$	$\frac{27}{9}$	$\frac{27}{9}$				$\frac{27}{9}$	$\frac{27}{9}$
		$\frac{2}{3}$												
$\frac{12}{4}$		$\frac{12}{4}$												
$\frac{6}{2}$														
	9				$\frac{12}{4}$									
			2	2			2	2	2	2	2	2	2	2
	2	2				2								

736
12

八軍隊區分

南	東	方	面	部
基	地	航	空	部
第二空襲部隊	第四空襲部隊	第五空襲部隊	第六空襲部隊	輸送部隊 補給部隊
第二十一航空戰隊	第二十四航空戰隊 八〇二航空隊	第二十五航空戰隊 秋津洲	第二十六航空戰隊	りん丸 慶洋丸 天城山丸 那岐山丸 北上丸 第五月丸 第十八真盛丸 鳴門丸 日春丸 名古屋丸 富士川丸 五州丸 巴蘭丸 湊丸
「カウイエン」方面	「マインヤル」方面 一部「ラポール」方面	本州東部方面	「ラポール」方面 一部「アモン」方面	

三月一日現在

(記事)

- 一、三月四日附 第廿五防空隊ヲ南東方面部隊附属部隊ヨリ外南洋部隊ニ編入
- 二、三月九日附 佐鎮七特ヲ南東方面部隊ヨリ除キ内南洋部隊ニ復級
- 三、三月十日附 第十九驅逐隊(残波名)南西方面艦隊ニ復級
- 四、三月十三日附 伊一七六潜 南東方面部隊ニ編入
- 五、三月十三日附 伊二〇潜 南東方面部隊ニ編入

隊		隊
率直		
南東潜水部隊	第七潜水戦隊	第十一、十二、十四、十六、十七、十八、十九、二十、二十六、二十八設営隊 第十一特設奥雷調整班 第一、第二防疫班
附属部隊	第十四、十六防空隊 興津丸	
外南洋部隊		

六、三月十日附 興津丸 南東方面部隊ヨリ内南洋部隊ニ編入

七、三月十五日附

(イ) 平松丸、第一若松丸 南東方面部隊附属ニ編入

(ロ) 第一、第二防疫班ヲ南東方面附属部隊ヨリ除キ外南洋部隊ニ編入

八、三月十七日附 伊五潜 南東方面部隊 編入

九、三月二十日附 伊六潜 南東方面部隊 編入

一〇、三月二十五日附 矢風 基地航空部隊ヨリ原隊ニ復返

一一、三月二十八日附 伊六潜 南東方面部隊 編入

伊七六潜 原隊ニ復返

一三、三月三十一日附

(イ) 第十七駆逐隊(谷風) 天津風 南東方面部隊 編入

(ロ) 吳鎮七特 外南洋部隊ニ編入

六、人員ノ現状

(イ) 司令部

(ロ) 職員官氏名



職	長官	參謀長	參謀副長	機關長	軍醫長	主計長	參謀			
主務							首席參謀	次席參謀	航空中參謀	連絡乙參謀
官	中將	少將		大佐	醫佐	主大佐	大佐	中佐		
氏名	草鹿任一	中原義正	西尾秀彦	本多伊吉	大久保信	船山忠一	三和義勇	大前敏一	三代長吉	條原多磨夫
記										三月二十一日退任 楊鎮附(三月十音附)

8290

五 六 七 八 九 一〇 一 二 三 三 四 五 六

ン エ イ ヲ

ル - ホラ / エ

ア 島 島

解 島 一 ホ

島 島 大 ツ オ

解 津 更

津 更

山 館 津 更

山 館 津 ト ツ

津 更

浜 橋

ンアニテ ル - ホ 701

ル - ホ 704

ルホラ ン 702

6290

三	三	二	二	二	二	一	二	二	二	二	一	一
一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	〇
シマニチ、カフ												
シ イ ヲ カ												
カ	フ										ル	
ア												
島 島 大												
ト ツ オ ル												
マ マ パ ア 島 島 大												
津 更 木												
山 館												
島 松 山 館												
津 更 木												
濱 橋 豊												
ル ー ボ												
ン ア ニ テ												
ン	イ										ラ	
ン												
シ ヲ												
ル												

一八〇部

部改

38

0890

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
第1 航空 艦隊	80248									
	チ エ ミ イ									
南東 支隊 附屬	秋津洲									
	トールヤ ← トツオル ← 谷 ←									
南東 支隊 附屬	ル - ボラ (矢風)									
	ル - ボラ ←									
南東 支隊 附屬	ルウナ ← ? (津丸)									
	ルウナ ← 至ル ? ←									
南東 支隊 附屬	秋風									
	カヒル ← 至ル ←									
南東 支隊 附屬	鶴 舞 大口風									
	カヒル ← 至ル ←									

1890

二 三	二 二	二 一	二 〇	一 九	一 八	一 七	一 六	一 五	一 四	一 三	一 二	一 一
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

エ

ミ

イ

?

マ
ン

ヤ
ル
ト

ル

ホ

ラ

編入
部内
整理
手

シ
キ
マ

イ
ニ
エ
ナ

ク
サ
イ

ク
リ
ラ
ク

ラ
ホ
ル

カ
シ
エ
シ

ロ
レ
ク
シ

カ
ル
ト

シ
エ
ツ
カ

2999

三 一	三 〇	二 九	二 八	二 七	二 六	二 五	二 四	
ジ								
?								
復 股						作 對 應		ト シ ク
						イ ニ テ		
サ イ バ ン								
? <small>カ</small>		ス ル ミ						

一八〇部見直
即答改丁

八	七	六	五	四	三	二	一	日
								丸んぶり
								丸洋慶
								丸山城天
								丸日五第
								丸州鳴
								丸春日
								丸盛八十第
								丸川上最
								丸川士富
								丸州五
								丸屋在名
								丸(上北)
								丸(山城那)
								丸(淡)
								丸(瀬田)

麻下艦船部隊、行動(其二)
第一艦隊
附屬艦
空艦隊

ウ

5880

ニ | ニ | 九 | 八 | 又 | 六 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 | 〇 | 九

ル - ホラ

フ ツ ラ

ト シ オ ム

ン パ イ サ シ ェ ヲ

須 須 横 須 横

シ ヲ ヲ ヲ / エ ヲ

須 須 横

ル - ホラ シ エ ヲ

須 須 横 須 横

雄 高

シ エ ヲ シ

シ シ ? シ シ シ

シ パ イ

? シ ?

シ シ

		日	五、作戦経過概要
ル	一	在 所	
	北東 晴	第一隊 天候 風向 風速 視界 (料)	
	二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	至何時 日没時	
隊艦面方	東南隊	一般任務	
隊部	面方東南	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	
	減力 撃力 戦力 空作 艦上 敵二	特別任務	
	加参戦作	八	主要行動作業
三、	部隊ノ指揮下ニ入ル	一、第二空襲部隊L、I、H區哨戒 二、第六空襲部隊B、C、D區索敵偵察 R-38一機未襲受戦五機追襲 艦隊十二機トトラックヨリ「ラポール」ニ空輸受領 二、四空(隨偵隊欠)五八三空在「ラポール」艦爆約九機 第一空襲部隊ノ指揮下ニ入ル 三、第二機 夜間「アンタ」未襲受戦	一、戦果 SBD三機撃墜 二、被害 高射砲弾藥 三、〇機破壊失

(一) 四八不確確射撃
又、海軍官七名戦死

7890

海軍功績調査部表紙 十六 第七日送付

南東方面艦隊機密第六一九號

昭和十八年十二月一日

10/20

南東方面部隊戦闘詳報 第一號

南東方面艦隊戦闘詳報 第一號

第二段作戦第三期終了

自昭和十七年十二月二十四日
至昭和十八年四月十六日、作戦

南東方面艦隊司令部

戦記

八一〇部

伊豆改丁

戦評

第一節
第二節
第三節
第四節
第五節
目次

形勢
計畫
經濟
今戰
達
報告
勢
畫
週
等
果

(目次終)

第一節 形勢

北航空部隊戰鬥詳報第六及第七號ノ通

第二節 計畫

十二月二十八日

方面増援兵力輸送並ニ同方面作戰ニ関スル南東方面艦隊第八方面軍
陸海軍協定

十二月三十一日

第八方面軍南東方面艦隊間「バブル」及其ノ附近警戒防空宿營ニ関スル協定
見書

昭和十八年一月一日

南太平洋方面防衛(警備防空)ニ関スル南東方面艦隊第八方面軍由協定
見書

十二月十日

南太平洋方面作戰ニ関スル南東方面艦隊第八方面軍協定

八〇〇部

部改訂

二月二十一日

「ケ」號作戰ニ於テ南東方面艦隊第八方面軍間航空ニ關スル協定

二月二十四日

月旨決定南太平洋方面作戰陸海軍協定第七條ニ基ク南東方面艦隊第八方面軍間暫定協定

二月十三日

二月十三日方面ニ對スル兵力輸送ニ關スル陸海軍間協定覺書

二月十四日

二月十四日方面ニ對スル兵力輸送ニ關スル陸海軍間航空作戰協定覺書

南東方面部隊警戒規程 (NTB 命令作第二號 三月六日)

南東方面航空基地整備計畫 (FBG 命令作第二二號 三月十四日)

南東方面航空基地設營計畫 (NTB 命令作第一三號 三月九日)

南東方面航空基地設營計畫 (NTB 命令作第四號 三月二十九日)

第二次「ハン」輸送作戰ニ關スル陸海軍協定覺書並ニ命令 (NTF 命令作第七

號同別冊 三月二十九日)

第三節 経過

第一 指揮官の行動

始「ラバウル」に在りて全作戦ヲ指揮ス

第二 兵力編制等

一 戦時編制改定ニ依ルモ

(イ) 十月十四日附 8F 及 11AF ヲ以テ 南東方面艦隊ヲ編制 GFニ編入

(ロ) 十一月十二日附 南東方面艦隊ニ軍法會議ヲ置ク

(ハ) 二月二十日附 第十四及第十五防空隊ヲ編制 NTFニ編入ス

佐鎮七特ヲ NTFニ附属ス

(ニ) 三月三十一日附 長七特ヲ NTFニ附属ス

(ホ) 四月一日附 7SS 及 11SY ヲ編入

(ヘ) 四月十五日附 11SY 及 解隊 九三八空ヲ編制 NTFニ編入

一 軍隊区分ニ依ルモ

(イ) 十二月二十四日附 NTF 及 従来 SNB 編入 兵力ヲ以テ NTB ヲ編成セラル GF

八〇部
部改訂

作第四三〇號

(イ) 十二月三十一日附 四駆逐隊一小隊ヲ NTBニ編入セラル

(ロ) 一月十一日 丙號輸送部隊(愛國丸、清澄丸、聖川丸、洋行丸) 第一航空

戦隊(飛鷹丸、AB駆逐艦三隻ヲ加フ)ヲ一時 NTB指揮官、指揮下ニ入ラシメ

ニル (GF電令作第四四六號)

(三) 一月十九日 朝雲、五号駆 (GF電令作第四四六號南群)ヲ ABニ復帰セシメラ

ル (GF電令作第四五五號)

(ホ) 一月二十日附 長月、文月、皐月ヲ NTBニ編入セラル (GF電令作第四五二號)

(ハ) 一月二十日 33d司令部、磯波、白雪ヲ NTBニ編入セラル (GF電令作第四五七號)

(ト) 一月二十二日 104g 雪風ヲ NTBニ編入 秋月ヲ KdBニ復帰セシメラル (GF電令作

第四五八號

(チ) GF電令作第四四六號ニ依ル NTB指揮官、指揮ヲ解カル (GF電令作第四六一號)

(リ) 二月二日 AB、駆逐艦二隻ヲ NTBニ編入セラル (GF電令作第四七五號)

(ニ) 二月六日 浦波、初雪、敷波ヲ NTBニ編入セラル (GF電令作第四七九號)

(ハ) 二月十三日 丙號輸送部隊ヲ NTBニ編入セラル (GF電令作第四八三號)

(フ) 丙號輸送部隊、編制ヲ解カル (GF電令作第四九一號) 二月二十七日

(ワ) 三月十二日附 伊一七六替、十三日附 伊二〇。替、十八日附 伊五潜ヲ NTB 編入セラル (GF 電令作第五〇一號)

(カ) 興津丸ヲ NTB ヨリ 除カル (GF 電令作第五〇三號)

(三) 三月二十日 伊一六替ヲ NTB 編入セラル (GF 電令作第五〇二號)

(ノ) 三月二十八日 伊六替ヲ NTB 編入 伊一七六替ヲ 原隊ニ 復帰セシメラル (GF 電令作第五〇六號)

(レ) 三月三十一日 第十七駆逐隊 (谷風) 天津風ヲ NTB 編入セシメラル (GF 電令作第五〇七號)

(ソ) 四月六日附 9dg (朝雲) ヲ NTB ヨリ 除カル (GF 電令作第五二二號)

(ツ) 四月十三日 2dg (五月雨) ヲ NTB ヨリ 除カル (GF 電令作第五三五號)

(チ) 四月十六日 10dg (雪風) ヲ NTB ヨリ 除カル (GF 電令作第五三七號)

第三節 經過

第一「カ」號 作戦

十一月十四日 揚陸艇團輸送失敗後「カ」島ニ 対スル輸送ハ 敵機ノ 妨礙熾烈化セル 爲 高速艦艇又ハ 潜水艦ヲ 以テセザレバ 成功ノ 算ナキニ 至レリ

八〇〇
印 改訂

十月三十日以後十二月十一日迄四回延四。隻駆逐艦輸送ヲ実施セル内二回ハ魚雷艇及敵機ト、交戦ニヨリ輸送ノ目的ヲ達成セズ爾來「ガ島」糧秣ハ極メテ愛憎ハベキ事態ニ立到レリ然モ次回輸送ハ月明ノ関係上一月初旬トナルベク此ノ向ハ潜水艦ヲ以テシテモ輸送困難トナレリ

右状況ニ於テ十二月十八日次期艦艇輸送再興迄夜間空中補給ヲ実施セシメラル（GF電令作第四一八號）空中補給ハ敵ノ警戒状況ヨリシテ晝間ハ投下高度ノ関係上殆ド実施不能ナル為夜間之ヲ実施スル要アルモ當時夜間行動可能ナル機數ハ最大一ヶ中隊程度輸送量約五屯ニ過ヤズ

又艦艇ヲ以テスル輸送ハ其ノ輸送量ニ比シ被害アル場合ハ代償餘リモ大ナルノミナラス作戦兵力ヲ輸送ニ割クハ忍ビ得サル處ニシテ之ニ代ルニ海「トラ」機帆船等ヲ以テ津綴基地ニ依ル常續補給ヲ実施シ萬已ムヲ得ザル場合ノミ艦艇輸送ヲ実施スルカノ計畫ヲ進メアリシモ「ガ島」糧秣ハ連綴基地完成迄保チ得ザル狀況ニアリ

依テ第三號哨戒艇ノ兵裝ヲ撤シ（搭載量約五。屯約二十日分ノ定量ニ相當ス）「ガ島」擱岸輸送ヲ強行スルコトヲ進言セシ處 GFヨリ許可アリ（GF電令作第四三一號）十二月二十五日附ヲ以テ本件ヲ下令ス（GF電令作第二號）

哨二號輸送準備中在「カ」島糧秣ヲ再調査セシ處次期輸送迄保チ得ルコト判
 哨二號ノ擱岸輸送ハ延期スルコトナリ（MF信令作第五號 十二月二十七日）
 哨後GF憲入作第四三五號（十二月二十日）方針ニ從ヒ作戰ヲ續行中一月七日ケ
 哨作戰發令セラル（GF命令作第二七號）
 一月三十日以後「カ」號作戰開始迄艦艇輸送左ノ通
 (一) 駆逐艦輸送七回延六七隻（内二回不成功）ドラム罐三八四〇個輸送
 (二) 潜水艦輸送二〇回延二〇隻（内一回不成功）

第二「カ」號作戰

十「カ」陸路進襲セル南海支隊ハ七月二十九日「ココダ」ヲ占領八月十四日「マタン」
 「山頂」ヲ越エ「モレスビー」ニ迫リシモ「ソ」ニ在リ戰ヲ勃發以後兵力ノ増援充分ナ
 ラザリシト兩期出水ノ為陸路補給不如意ナリシヲ以テ漸次後退ヲ續ケ十月
 「フ」ニ「グ」ト「附近」ニ集結戰ヲ維持ニ努メツアリタリ
 十二月十六日日本軍海路ヨリ「ブ」ト南方ニ上陸戦ガ準備隊ハ克ク全カヲ盡シテ大戦
 セル漸次圧迫セラルルニ至ル
 「ブ」ト放棄ハ直ニ「ラバウル」方面ニ至ル 影響日ヲ及ボスベキヲ以テ第八方面軍ニ對シ兵力増強

（八〇〇部）
 初稿改訂

申入レルモ大兵力ノ輸送ヲ承認セズ「ブナ」ギルワ附近ノ確保ニ必要ナル最小限兵力ヲ
駆逐艦ヲ以テ輸送スルコトナリ十一月一日及十三日ノ二回ニ亘リ増援セリ

十二月二十日ニ至リ敵ノ戦車出現シ加フルニ航空部隊ハ完全ニ各方面作戦ヲ強イラルル結果

充分ナル支援ヲ行ヒ得ズ「ブナ」守備隊長ハ同日「ブナ」ノ確保シ難キ旨ヲ電報ス

（「ブナ」守備隊機密第二八〇五番電）依テ外南洋部隊指揮官ヲシテ「ブナ」ヨ

リ撤退「ギルワ」ニ転進ヲ令セシム（SNB電令作第二七八號）

十一月二日「ブナ」守備隊ハ「ギルワ」ニ転進ヲ開始セルモ司令ハ本部ヲ率ヒ敵中ニ突入社

烈ナル戦死ヲ遂グ

「ブナ」放棄後「レ」號方面作戦ハ將兵ノ補給ヲ考慮シ先ツ「エ」ニ相當ノ兵力ヲ

増派シテ之ヲ確保スル共ニ「マダン」「ウエワク」ヲ同方面作戦ノ後方據点タシムルコトニ決

定之ガ攻畧ヲ計畫十二月十七日十八日夫々「ツンブ」「ウエワク」及「マダン」ノ攻畧ニ成功

セリ（「ム」號作戦）

六 本期中「ブナ」ニ対スル艦艇輸送左ノ通

（イ）駆逐艦輸送 四回 延三十二隻（内一回不成功）

（ロ）潜水艦輸送 十四回中延十一隻成功

第三、 第一八號作戦以後「レ」號作戦

「ラエ」方面増援兵力輸送並ニ同方面作戦に南スル海陸軍協定ニ依リ一月七日船團ヲ以テ「ラエ」輸送ヲ強行シ陸兵約三〇〇〇名及第七根據地隊ノ進出ヲ完了シ同方面戦路態勢ハ相當強化スルヲ得タリ

爾後「ラエ」方面作戦ハ「ギルワ」ヨリ舟艇機動ニ依リ転進スル山縣及横山支隊ヲ收容ト「ラエ」方面戦路態勢ノ整備並ニ「ラバウル」方面ヨリスル小舟艇ニ依リ常續補給路(連綴基地)ノ整備ニ全カヲ注グコトナレリ

常續補給用連綴基地ハ二月廿九日ニ概テ完成シ機帆船ニ以テ補給ヲ開始セルモ二月廿一日第七萃丸「マカス」基地ニ於テ敵機ニ發見セラレ銃爆襲ニ依リ中破航行不能ナレリ初メトシ何レモ成功セズ將來補給路ハ「エブリテン」北岸「ウルブ」ヲ經由スル輸送路ヲ必要トスルニ至レリ

山縣、横山兩支隊ハ一月廿九日「ラエ」河口ニ集結「マンバレー」ヨリスル潜水艦輸送並ニ舟艇機動ニ依リ二月中ニ「ラエ」方面ニ転進ヲ完了セルモ南海支隊並ニ第十五設營隊ノ消息ヲ絶テリ

第四 「ケ」號作戦

一 第四次「ケ」奪回作戦ニ充當スル陸軍兵力「ラバウル」方面到達時期概テ一



月一旬頃ト豫定セラレ(兩號輸送)タルモ 第一項ノ如キ狀況ニ於テ在「ガ」島部隊ニ
 対スル補給ヲ繼續シツ新ニ奪回ニ必要トスル大兵力ヲ輸送セントスルハ徒ニ兵力ヲ消
 耗スルニ過ギホルヲ以テ「ガ」島兵力ハ一時之ヲ撤收シ「ニュージョージヤ」イサベル方面ニ
 ヲ嚴重ナシ「敵」向方面ニ対スル進軍企圖ヲ完封スルト共ニ機ヲ見テ「ガ」島ヲ奪回スルニ
 決シ本作戰ヲ發令セラル

奪回作戰ニ必要ナル「ニュージョージヤ」方面航空基地トシテ「同島南端」ムダポイント及「コ
 ロンバンガラ」島南端ニ適地ヲ發見十二月下旬迄ニ何トモ第一期工事を完成ス 依テ十二
 月二十三日先ヅ戦機二四機ヲ進出セシメルモ 敵友軍熾烈ニシテ常駐基地トシテハ使用
 シ得ズ 「レ」號作戰中ハ專ラ中継基地トシテ使用セリ

本作戰ノ為當方面ニ増派豫定ナリシ陸軍航空部隊中戦機第一戦隊ハ十二月十
 八日同第一戦隊ハ一月十二日輕爆戦隊ハ同十七日夫々「ラバウル」空輸ヲ完了シ本
 作戰ニ協力セリ

「レ」號航空輸送作戰ハ FBG 戦機詳報通
 本作戰概成後「ロモン」方面ニ対シテハ「海陸軍」兵力ヲ既備シ警戒ヲ嚴重ナシ
 「ボーンビル」島「シヨートランド」島及「バニレ」附近
 海軍 第一根據地隊約二八。〇名

陸軍 第十七軍司令部 第二師團、第六師團、第三十八師團計約二万七、

(四) ニュージーランド、フィリピン、ボルネオ、ジャバ、レカ、リ、附近

海軍 第八聯合特別陸戰隊 約三、〇〇〇名

陸軍 第六師團及第三十八師團、各一部、川口支隊、一部、約七、〇〇〇名

第五 第八一號作戦

「カ」號作戦、為準備セル部隊ハ「カ」號作戦、概成ト共、「カ」ロモシ方面へ輸送ハ必要トナリ陸海軍中央協定ニ基キ同兵力ヲ「エ」ギニア方面ニ転送シ該方面ニ於ケル戦略態勢ヲ強化スルヲトナリ輸送ニ関シ第八方面軍ト協定ス（「エ」ギニア方面ニ対スル兵力輸送ニ関スル陸海軍間協定覚書 二月十三日）
第四十一師團主力ハ「エ」ロク附近揚陸及本作戦実施、為陸軍航空部隊展開ニ必要ナル基地員及物件「マ」ダン「ス」ルミ及「ツ」ルブニ対スル輸送ハ行レモ豫定ト通完了セルモ第十八軍司令部及第五十一師團ハ「ラ」エニ対スル輸送ハ「モ」レスビー方面ニ対スル航空襲滅戦、実施不能底ニ禍セラレ敵空軍、大集團攻撃ヲ受ケ潰滅スルニ至レリ（詳細FBG戦斗詳報）

二八一の戦況

伊勢海軍

第二十師團「マダン」輸送の前項「ラ」輸送の失敗に鑑み敵機攻撃圖ヲ考慮シ揚陸点ヲハンサ「湾」ニ変更（竹信電令作第ニ號）陸軍航空部隊直衛下三月十日揚陸完了セリ

第六 一號 作戰

二月十六日「コロンバンガラ」砲臺「ワイ」方面に敵中候「出沒」が島方面通信狀況等ヨリ判断シ敵ハ三月中旬以降「ソロ」方面に對シ積極的行動ニ出デントスルハ様濃厚トナリ「ユギニア」方面に於テモ空中偵察ノ結果「ミルネ」湾「オロ」湾方面に第一十數隻輸送船ヲ集中シ兵力増強ニ努メアリ

之に對シ一大痛害ヲ實施スル要アルモ其地航空部隊独力ヲ以テシテ「ソロ」湾「ユギニア」兩方面に對シ攻撃ヲ實施スルノ困難ナル狀況ニアリ

依テ「FG」ヨリ「FG」兵力ヲ併セ右攻撃ヲ實施スベク本作戦ヲ下令セラル

四月三日「FG」司令部ハ「ミバウル」ニ進出シ「FG」長官自ラ本作戦ヲ指揮セラル

四月七日×攻撃 四月十二日 Y 攻撃 四月十四日 Y 一攻撃 四月十一日及十四日 Y 二攻撃ヲ實施

綜合戰果（FG 含ム）等左ノ通

(イ) 参加延機數

艦戦 四八六 艦爆 一二四 陸攻 八。

(ロ) 敵艦船隻沈破數

(一) 撃沈 大型輸送船六 同中型九 同小型三 巡洋艦一 駆逐艦二 計 二一隻

(二) 大破 大型輸送船二 同中型四 同小型二 計 八隻

(三) 小破 大型輸送船一 同中型一 海トラ 數隻

敵機喪失破數 一三四(内不確実六八)喪失 一六炎上

四月十六日ヨリニ攻撃ヲ續行ノ豫定ナシモ空中偵察ノ結果目標ヲ発見セズ同日ヲ以テ

本攻撃ヲ終結セラル

第七 要地防備ノ状況

グ島及ブナ方面ヨリ撤退ヲ餘儀ナクセラレ要地防備ノ重点ヲエーゾーゾヤ方面及

ラゴ サラモ下方面ニ指向セリ

而トモ前項地区ニ対スル敵機(潜)ノ補給遮断作戰ハ極メテ執拗ニシテ第八一

作戦ノ如ク全ク其目的ヲ達成シ得サルガ如キ場合モ生起シ前線要地防備ノ

所期ノ如ク整備シ得ズ

八二〇
八二一

戦年六

四、敵之等要地ニ対スル反抗態勢極メテ濃厚ナルモノアルヲ窺知シテ、號作戦ヲ
 実施セラレ敵進攻作戦ノ氣勢ヲ減殺スルト共ニ其間極力前線要地輸送ヲ実施シテ
 ガ防備強化ヲ圖ル
 中央、増置ト相俟ツテ本期間南東方面ノ防備ハ一般的ニ逐次強化セラレツアリト雖モ
 東方要地防衛ニ必要ナル小舟艇、防空部隊、見張要探機関等最陸路ト
 ナリテ極メテ寒心スベキ状態ニアリ

面		方	
防面方R		(NTSB) 部潜南 隊水東	
		艦	
△ 8B9		△ 7S5	
特別義勇隊 第二義勇 隊 佐五特一部 第六十三 第六十四 第六十五 防空 第二 第五 第十四 第二十一 第四十四 第四十五 第五十二 第 八十八 第八十九 第九十 航 隊 (839 809 欠) 230hg W26 W28		伊一七六 潛 伊一七七 潛 伊一六 潛 伊一三八 潛 (伊六 潛) 伊六 潛 155g 75S	
△ 35d		△ 27dg	
		夕風、松風	
三 RR 間輸送船 (團) 二 RR 2AA 間輸送船 (團) 護衛		三 作戰緊急輸送 一 RA 方面緊急輸送 一 R 方面擔任區域防 衛 海軍部 一 RA 珊瑚海方面哨戒敵艦 船攻勢 敵補給線遮斷 監視 要地偵察機雷敷 設	

六五二一五
 即改訂

部

隊備面RA 部防方	隊備面RC 部防方	隊備面RN 部防方	隊部備
--------------	--------------	--------------	-----

令

司

△ 7B8	▽ 2AB8	△ 8GL9	
<p>7B8 第百一設營隊派遣隊</p> <p>7B9 第三、第二十三防空隊</p> <p>7B9 (23ch) 佐五特主力</p>	<p>2AB8 特務艇</p> <p>2AB9 第三號第十號驅潜</p> <p>2AB32 第三十一防空隊</p>	<p>8GL9 (一部欠) 83L9</p> <p>8GL9 第二、第二十一防空隊</p> <p>8GL9 第三利丸、特監視二隻</p>	<p>隊二部</p> <p>中隊、第二輸送隊、第十魚雷艇隊二部、興安丸、和洋丸</p> <p>第一、二防疫班、第百一設營</p>
<p>一 RA 方面擔任區域之防衛</p> <p>二 RA 方面常續補給二部</p>	<p>一 RC 方面擔任區域之防衛</p> <p>二 RC 方面敵潜掃蕩</p> <p>三 PP RC 間海交通保護</p>	<p>RO 附近敵潜掃蕩</p> <p>RN 大部 OB 及附近防備</p>	<p>四、OAA 常續補給</p>

(N.T.B.)

隊
附

官 指 揮	官	隊	艦	長 各
第十八眞益丸、朝山丸 天城山丸、(榮才五日の丸)	那岐山丸、五洲丸、日海丸	第三高速丸、住吉丸	長光丸、北開丸、接名丸 (東寧丸) 尾上丸	早崎、荒崎、第其播州丸 鳴戸、國洋丸、あけぼの丸 富士川丸、 り松丸、慶洋丸、名古屋丸
			補給艇	電纜敷設
				艦船兵器修理救難
				修理整備

六五二一五
郵務改訂

屬		
官		
第八氣象隊	第八百一設營隊主力 第八百一設營隊一部	第八通信隊
断氣象調查	南東方面氣象觀測 通報線三放送氣象判	作戰線三般通信及通信線報 防備施設、航空基地設營

(終)

6040

別紙第五
南東方面部隊兵力部署改訂

月日	兵	力	部	隊	分	記
二一	31dg (巻波久) 初風				2syb	發令アリシモ変更
二二	10s (阿賀野 若月初風) 31dg (巻沙久)				3syb	
二三	日榮丸 日章丸				直率	
二四	YB (4S 2sd 能代 32dg 島風) 7s (鈴谷 最上) 8s (筑摩)				南東方面部隊 警備部隊	主要任務 敵艦隊輸送船団警戒
二六	夕張 31dg 17dg (浦風 磯風)				YB 2syb	
二七	2sd (能代 31dg 32dg 玉波久) 風雲 27dg 10s (阿賀野 若月初風) 5s 17dg (鈴谷 最上) 8s (筑摩) 島風 玉波				YB 3syb 2syb 1syb YB 2syb	編制ヲ解キ 除外 除外 新編制第一襲撃部隊 主要任務 敵海上兵力警戒
二八	日章丸 第十一衛隊 丁四號輸送部隊 (4dg 日枝丸) 興業丸				NTB 附屬 RC 方面 防備部隊 NTB 直率 防備部隊	GF 附屬 十一月九日 編制ヲ解カル NTB 指揮官ノ指揮ヲ解カル
二九	六丸 三丸 櫻丸 博丸 昭勢丸 下松丸 第二興業丸 第四十七號 第六十一號 第六十二號 各艦 特務艇				RC 方面 防備部隊 NTB 附屬	NTF 附屬 二特根ニ新編入
三〇	伊號 第百一十一潜水艦				NTSB	新編成(4dg) 新兵力部署發令

六十一丁五
印
改訂